

2017年度 第2回日本社会福祉学会関東地域部会運営委員会議事録

日時：2017年9月22日（金）18:30-20:30

場所：明治学院大学白金キャンパス 社会学部附属研究所会議室

出席者：（敬称略）：■出席、□欠席

■久保美紀 ■大島巖 □高山直樹 □荒井浩道 ■ 稲垣美加子 □今泉礼右

□岡田哲郎 □小野孝嘉 □北本佳子 ■金成垣 □小林理 □佐藤信人 □眞保智子

■田嶋英行 □豊田宗裕 □贅川信幸 □林浩康 ■菱沼幹男 ■保正友子 □室田信一

■山口麻衣 □山田知子 □六波羅詩朗 □渡邊浩文 ■耕田昭子（事務局）

報告：

1. 理事会報告 （久保）

7月29日に理事会が開催された。地域ブロックに関係することはとくになし。

議題：

1. ニュースレター

内容は例年通りとし、昨年度の研究大会報告、新しい委員の挨拶などを盛り込む。

担当は、稲垣先生。該当の委員の方々には、別途依頼をさせていただく。

2. 2017年度関東部会研究大会

第1回運営委員会で、第一候補が3月18日とされたが、明治学院大学が使用不可のため、次候補の3月4日に開催することで承認された。

場所：明治学院大学白金校舎

開催日：3月4日（日）

7月14日に大会担当委員会が開催され、大会プログラムについて検討した。

1) 大会テーマ案について、金先生から説明があった。

・基調講演は、米澤旦先生（明治学院大学）にお願いし、ご内諾を得ている。

・講演のテーマとして、「組織社会学から社会サービス供給を再考する（仮）」をいただいております、それを受けてのシンポジウムの趣旨とシンポジスト案について、検討がなされた。大会テーマを「働くことへの支援と供給組織の多様化を問う」（仮）とし、シンポジスト2名（うち、1名は実践家の方をお願いする）・コメンテーター1名について、交渉することになった。コーディネーターは金先生をお願いすることになった。

・時間配分については、基調講演：1時間、シンポジウム2時間（シンポジスト：20分、コメンテーター：20分、そのあと全体討論）として進めていく。

2) 研究大会新プログラム（案）について

オープニング・ワークショップについて、保正先生より説明があった。

社会福祉学会で、若手・女性研究者に対する支援検討委員会（委員長：保正先生）が立ち上げられた。関東ブロックでも、それにかかわる支援プログラムとして、ワークショップを行いたい。

検討の結果、以下のように進めることになった。

- ・「ここが知りたい！つながりたい！研究活動」をテーマとして、小グループごとのテーマを設定し、最初のプログラムとして参加を促すべく、グループでの話し合いを行う。
- ・各グループのテーマとアドバイザーを明記して募集する。
- ・参加者の条件はとくに設けない。
- ・ニューズレターに掲載し、案内する。
- ・事前申し込みとし、人数調整をする。

3) 自由研究報告発表・募集要項（案）について

ワークショップ開催に伴い、自由研究発表報告の時間を下記のように調整する。

報告時間を 20 分、質疑応答を 10 分とし、計 30 分とする。

4) 研究大会奨励賞

例年通りの手順に従って進める。

5) 記念講演（学会学術賞・奨励賞受賞者）

- ・関東部会所属の会員が受賞者の場合、研究大会で講演を行う慣例となっており、該当者に打診

することになった。なお、学術賞受賞者に関しては、日本社会福祉学会事務局と調整して進めることとなった。

・講演時間は、学術賞受賞者は 30 分、奨励賞（論文）は 20 分とする。

◎研究大会プログラムの詳細は、大会担当委員会で詰めていくことになった。

2. その他

北海道ブロックから、研究大会時における研究交流の申し出があった。

研究大会への参加については歓迎であり、以下のように対応することとなった。

・北海道ブロック所属の会員の研究発表については、2 名までを受け入れる。

・研究大会奨励賞は趣旨からして関東部会所属の発表者とする。

3. 機関誌『社会福祉学評論』について

2017 年度受付分

2017 年 3 月末締切 4 本

2017 年 6 月末締切 4 本

掲載決定から刊行までを円滑に進めることが確認された。

4. 今後の運営委員会予定

第 3 回運営委員会（例年 11 月）

11月10日（金）、13日（月）を候補日として、日程調整をすることとなった。

第4回運営委員会（研究大会）2018年3月4日（日）

記録：事務局